

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1,272 号	氏名	山根 健太郎
論文審査担当者		主査教授	澄川 耕二
		副査教授	江口 勝美
		副査教授	関根 一郎
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、肝硬変合併患者に対する心臓手術について、肝硬変重症度と手術成績の関係、周術期合併症に関与する因子等を明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 8年間に施行した心臓手術1374例のうち、肝硬変合併患者21例について、術前及び術中の各種パラメータと術後合併症の関連を統計学的に検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記方法で解析した結果、肝硬変重症度と周術期合併症の関連、各種パラメータと合併症の関連等について重要な知見が得られたもので、解析と考察も妥当である。</p>			
<p>以上のように本論文は心臓外科学の臨床と研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			